

感染症情報 10月9日～15日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	576例(堺市	26例)
②RSウイルス感染症	353例(堺市	22例)
③溶連菌感染症	317例(堺市	25例)
④手足口病	228例(堺市	8例)
⑤突発性発疹	96例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	45例(堺市	3例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比2.1%減の1,828件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下RSウイルス感染症、溶連菌感染症、手足口病、突発性発疹の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より5%減、堺市で前週比24%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週比22%減、堺市で41%の大幅減であった。定点当たりで見ると、前週が2.3で、今回は1.8であった。溶連菌感染症は府下で前週比3%減、堺市で前週22例→今回25例であった。手足口病は府下で前週比69%増、堺市で前週6例→今回8例であった。

インフルエンザは府下で前週88例→今回45例で、49%減であった。堺市では前週10例から今回は3例に減った。定点当たりでは前週0.3→今回0.1である。

麻疹や風疹の報告はなかった。